

議案第 1 号**小方橋架け替え・道路改良工事等に伴うこいこいバスルート及びダイヤの変更について（案）****1 経緯**

広島県が実施する小方橋架け替え・道路改良工事等に伴い、令和 7 年 4 月中旬から令和 9 年 3 月頃までの約 2 年間、小方橋が通行止めとなる予定である。

この小方橋は、こいこいバスのルートとなっていることから、令和 7 年 4 月 14 日（月）からルートの変更を行う。

また、当該ルートの変更及び令和 6 年 2 月に発生したこいこいバスによる交通死亡事故を踏まえ、全体的にダイヤの見直しを行う。

2 案の趣旨

こいこいバスのルート及びダイヤを変更することについて承認を求めるもの。

3 変更の概要**<ルート>（資料 1、2-1、2-2）**

- ・ルートについては、運行事業者 2 社、大竹警察署及び土木課と協議を行っている。
- ・小方橋が通行止めとなることから、飛石港バス停が使用できなくなる。
- ・利用者の混乱を避けるため、飛石港バス停を除き、停留所の順番を現行どおりとしたため、一部大回りとなるルートとなった。
- ・今回のルート変更は、御園大橋～おがたピアの間となる。
なお、大竹駅～御園大橋の間、おがたピア～玖波駅の間のルートは従来どおりである。
- ・小方港バス停については、ルートの関係上、岩国側（港待合所に近い方）のバス停のみの使用となる。

<ダイヤ>（資料 3、4）

- ・ダイヤについては、運行事業者 2 社と協議を行っている。
- ・従前ダイヤは、大竹駅・玖波駅をそれぞれ起点・終点としていたが、大竹駅を起点・終点としたダイヤに変更する。（玖波駅を通過停留所の位置付けとする）
- ・ルート変更に伴うダイヤの変更のほか、令和 6 年 2 月に発生したこいこいバスによる交通死亡事故を踏まえて、より安全な運行となるよう、ルート変更箇所以外についても一部ダイヤの変更を行っている。
- ・従前では、大竹駅と玖波駅間の所要時間を 25 分としていたが、大竹駅から玖波駅方面行の所要時間が 32 分、玖波駅から大竹駅方面行きの所要時間が 28 分となる。
- ・各バス停のダイヤが変わるとともに、バス停での発着の間隔は従前の 40 分又は 60 分間隔から 40 分～50 分間隔となる。
- ・玖波駅の待機時間を 15 分から 3 分に縮小した。この 3 分は、交通渋滞等で発生した遅れなどの調整に充てることとした。その分、大竹駅での待機時間を 15 分から

2 2 分に増やし、運転士の休憩や次発便の準備時間等に充てることとした。

- ・ 1 日の便数については、従前どおり大竹駅方面行き 1 7 便、玖波駅方面行き 1 7 便としている。

＜その他の変更（予定含む）＞

- ・ 大竹駅を起点・終点に変更したため、行先については「大竹駅行き」「玖波駅行き」から「大竹駅方面行き」「玖波駅方面行き」に変更する。
- ・ フランス、パリのユネスコ本部で行われたベルサイユ賞の美術館・博物館部門で、下瀬美術館が「世界で最も美しい美術館」に選ばれたことから、国内のほか、世界各地から観光に訪れる方も増えている。そのため、運転士に最寄りのバス停などを聞かれる方も多く、運転士の負担が大きくなっている。
そうしたことから、ゆめタウン停留所におけるバスの音声案内について、下瀬美術館の最寄りのバス停と分かるよう、日本語と英語による音声案内の追加を予定している。
- ・ 各バス停留所の表示については、小方橋架け替え工事等終了時に再度ルート、ダイヤが変更となることから、今回は旧ダイヤの上から新ダイヤのシールを貼るなどの最小限の補修にとどめる。

4 変更期間

令和 7 年 4 月 1 4 日（月）から令和 9 年 3 月頃まで

※ただし、工事の進捗状況等により、終期については変更が生じる可能性がある。